

全日教連 要望結果報告

(発行 平成29年10月19日)

第8次中央要請行動

文教予算の充実等に関する要望

財 務 省

要望日時 平成29年10月16日（月） 11:00～11:30

回答者 【主計局】

文部科学係 主計官補佐

吉田 圭一 氏

要望者 【全日本教職員連盟】

委員長 郡司 隆文

副委員長 小林 昭宏

島村 暢之

安本 薫

単位団体専従 矢ヶ部 大輔

事務局長 井上 真登

事務局次長 中道 敬

高橋 篤

東條 光洋

古川 俊裕

中村 高志

太田 貴也

要 望（全日教連）

- 教育の質の更なる向上と複雑化・多様化・困難化した教育諸課題への適切な対応を可能とするため、基礎定数及び加配定数の充実による教職員の計画的、安定的な配置に必要な予算措置を講じること
- 人材確保法の初心に立ち返り、教職員を目指す優秀な人材を将来に亘って確保するため、優遇部分の大胆な拡充を図ること
- 教員の勤務の特殊性を鑑み、教員勤務実態調査の結果を反映した適正な教職調整額を支給すること
- 教育環境の地域間格差を解消するために義務教育費を全額国庫負担とし、国が責任をもって教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ること
- 家庭の経済力の違いによる教育格差の是正と貧困の連鎖を断ち切るための予算措置を講じること
 - 幼児教育の重要性を鑑み、幼児教育無償化を実現すること
 - 高校生等給付型奨学金等の教育費支援制度の拡充を図ること



財務省

要望1について

例年議論になるところではあるが、子供の数が減っており、先生も自然減となっている。基礎定数や加配定数については、文部科学省とも議論を進めていきたい。

要望2・3について

先生の処遇については、まずは現場の先生方が大変でそれをどうするか、子供たちの教育をどうするか、こういった部分を考えた上で、処遇の部分の議論が出てくると思う。別に切り離そうというわけではない。まずは、どのようにすれば今の問題を解決できるのか、その上で処遇問題も出てくると思う。このあたりの話が出てくればしっかりと議論していくということになると思う。

要望4について

義務教育に限らず、国と地方との関係は、三位一体改革等の頃からしっかりと議論した上で今の制度ができている。このような意見については全体として議論しなければならないと思う。

要望5について

基本方針2017でも財源を確保した上で段階的な無償化を検討することになっており、全体として検討していきたい。

意見及び回答

● 教職員定数の充実について

【全日教連】

小学校の場合、教材研究や授業準備に多くの時間がかかる。また、英語等の新しい教科が導入されるので更に教材研究等の時間が増える。担当授業時数も多く、週29時間中、多い先生で27時間くらい、少ない先生でも24、25時間くらいある。1日のうち1時間でも授業準備の時間に充てられないというのが現状である。放課後についても、分掌等の調査への回答等に時間を費やしており、1番大事な授業に関するところの時間が十分に確保できていない。子供たちの学力保障や子供たちと向き合う時間を確保するためにも、専科教員の増員をお願いしたい。

【財務省】

新しい教科の導入に向けた準備の状況はどんな感じか。また、英語に関しては、誰が教えるか等難しい問題があるのか。

【全日教連】

英語に関しては、先行実施しているところもあるが、授業時数や学習内容のこともあり、急ピッチで準備を進めているところである。英語の導入に関して不安を抱えている先生が多いのが現状である。

【財務省】

中学校とか他の近隣の学校と連携できそうな形はあるのか。

【全日教連】

小中連携として中学校の英語教員が小学校で授業を行うところもあるが、そういう学校は少ない。実際多くの現場は、高学年の担任が授業を行う形で進んでいるので、質の高い授業ができるか不安だという話や負担感等の問題がある。

【全日教連】

中学校の場合、小学校に比べ若干担当授業時数は少ないが、部活動や生徒指導の課題に対応する時間が多い。

部活動に関しては、放課後や週末もなく、教員本来の業務がなかなか進まない状況である。部活動の内容については、今後議論していかなければならないところだが、今の現場が大変だという認識があるとするれば、部活動指導員を増やしてほしい。

生徒指導に関しては、中学生は多感な時期に入り、対応が難しく大変になってくる。教員は担当授業がないときでも、悩みを抱えている生徒の相談にのったり、いじめ等の問題行動が起こったりしたときは、話を聞いてすぐに対応しないといけない。生徒指導の対応については、担任や生徒指導等が第一線に立って解決に当たっていかなければならないものが多々ある。こうした生徒指導の現状を鑑み、教員の定数改善をお願いしたい。

【全日教連】

養護教諭について、現在教室に入れられない子供や授業に集中できない子供等、様々な課題を抱えている子供がおり、保健室で養護教諭が対応することが多い。そのような対応をしていると養護教諭本来の業務が疎かになってしまう。大規模校では複数配置され、そういう課題に対応する養護教諭、保健室を管理する養護教諭と仕事をきちんと役割分担し、上手くいっている好事例がある。しかし、そのような学校は少ないのが現状である。中規模校にもそのような課題を抱えた子供はたくさんいるので、都道府県の財政状況に左右されないよう、養護教諭の複数配置について国が措置していただきたい。

また、緊急対応も養護教諭に求められてきている。学校に専門の看護師等が派遣できるようなシステムを構築していただきたい。

【全日教連】

子供の数は減っているが、貧困や親が子供を育てきれない等の問題を抱えている家庭、特別の支援を要する児童生徒等が増加しており、それらに学校は対応し、子供たちが健やかに育つようにしていかなければならない。課題を抱えた子供たちを様々な目で見えていく必要があるので、養護教諭の複数配置校を増やしてほしい。

【全日教連】

先程、子供が減ってきているので先生も自然減となるという話があったが、現在は、一斉指導ではなく、一人一人に合った、焦点をあてた個別の学習支援をしていくのが国の教育施策の方針である。そのためには、学級の集団を小さくするべきであるし、その中で更に少人数指導ができる教員の配置をしていかなければならない。一人で教育はできない。複数で教育にあたるという視点をもって、人材の確保と教員の増員を考えて欲しい。

【全日教連】

高等学校の場合、大学への高校教育の接続が大きなテーマとなっている。現在、ほぼ100%の子供が高校進学している状況がある。多様な高校が存在しているため、課題のある生徒が特定の学校に集中することもあり、その中には発達障害のある生徒がかなり入学している。そのような中で、次年度から通級制度がスタートするが、定着するための財政的支援をしっかりとやっていただきたい。一方で、進学校等については、高大接続、大学入試改革等で大変多くの対応を迫られている現状がある。

高校においては、進学、就職について、保護者、生徒のニーズに緻密に対応するためかなりの時間を割いている。また、少子化に伴って各学校とも定員確保、中学校への広報といった業務が以前と比べ増えている。文部科学省は高校の勤務実態を正しく把握されていないが、自分の団体で調査したところ、中学校と同じくらいの超過勤務の実態があるのでお知りおきいただきたい。

【全日教連】

栄養教諭・栄養教職員について、昨今非常に食育が重要だと言われており、学校現場に出て児童生徒にしっかり指導したいという思いをもっている。しかし、給食調理のセンター化が進み、非常に多くの食数を自分一人で管理しなくてはならない状況がある。命に関わるアレルギー対応も行っていかなければならない。配置基準を引き下げていただき、より充実した食育と食の安全確保が図られるようにしてほしい。県教育委員会の方と話すとき、県立学校には栄養教諭がいないので、配置等は市町村がしっかり考えていくことを期待していると言われた。配置等については、国がしっかりと方針を示し、市町村を財政的にもバックアップしてほしい。

【全日教連】

ここ数年、文部科学省と財務省のやり取りをみていると、文部科学省の教育施策に対して、財務省は費用対効果はどうかという明確なエビデンスを求めている。文部科学省は、そのエビデンスを出すために、新しい施策や調査等を現場に降ろす。しかし、要求が満額認められないから、現場は更に首が絞まっていく状況にあったように思う。一方、働き方改革が叫ばれる中、多くの教員が過労死ラインを越えている実態がある。各学校は、自助努力、業務改善等々、色々やっているところだが、それではとても難しい。今回の勤務実態調査が、財務省が言ってきた定数改善のエビデンスというものになり得るのか、また、議論の俎上にあがるのか。

【財務省】

あがってしかるべきだと思う。

【全日教連】

文部科学省が要求している教員増に関しては、今の過労死ラインを越えている人数を減らすにはまだまだ不足している。もし満額認められたとしても、過労死ラインの割合が劇的に下がるとは思えない。しかし、教員を増員しないと、教員の健康問題等の解消も図れない。未来を担う子供たちのために、教員の増員を認めていただきたい。

【財務省】

過労死ラインに達している人が多いのは問題である。教員をたくさん配置して解決できれば良いことだが、いろんな要素の組み合わせがある。

【全日教連】

現在、地方においては、臨時の教員が足りていない。優秀な人材を確保するために、教員への志願者が増えるようするために、優遇部分の拡充等の処遇改善等、対策を考えていただきたい。

